

伝統工芸引き継ぐ大切さ

城南中学校で職業講話

新宮市

新宮市立城南中学校（中田善夫校長）で11日、職業講話があった。同市大橋通の「井上はんや」（30）が伝統工芸を引き継ぐ大切さを生徒らに伝えた。

働く人の話を聞き、仕事の楽しさや厳しさを学び職業に対する理解を深めようと、職場体験の前に毎年行われている。

井上さんは自身の仕事や使っている道具から職業観などを話した。江戸時代から変わらない技や

伝統工芸全般にいえる後継者不足と材料確保の課題なども挙げ、それでも古き良き物を継承してい

くことの大切さを訴えた。持ってきたはんこや組子細工などを見せた他、生徒の目の前で「城南」という字を彫り、興味を持った生徒が体験する一幕も。講話と体験の両方から生徒たちに働くこと

や自身の仕事について紹介した。井上さんは「思った以上に興味を持ってくれて良かった。伝統工芸や職人という距離感や堅いイメージがあるかと思いますが、そういうイメージを持つ必要はないと知

ってほしいです。物の本質を見るという意識は忘れてはならない。ネットやIT化が進む中、物作りの楽しさなど、忘れてはならないことが伝統工芸にはあると思います」と話していた。

（孫入麻衣）

出展事業者を募集

3月、米国「和歌山フェア」

和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会は、来年3月にアメリカ

・ロサンゼルスとその近

郊で開催する「和歌山フ

エア」の出展事業者を募

集している。10月15日

（月）と16日（火）に和

歌山市の県庁東別館で商

談会を実施し出展商品を

選定する。

対象商品は賞味期限が

おおむね半年以上の食品

全般。米国の輸入規制に

は十分注意する。商談会

当日は、商品サンプル、

紙皿・つまようじなどの

試食用品を持参する。商談会対応者（予定）はMarukai Corporationの中山善晴マネジャーと、カワ・コーポレーションの佐川観治副社長。

参加を希望する人は、

県食品流通課ホームページ

（<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/an.nai/d00156144.html>）からエントリーシ

ートをダウンロードし、

10月5日（金）までにメー

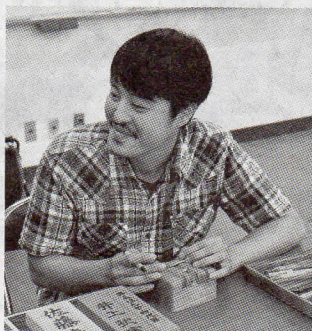
ルで同協議会事務局（同

課内、電話073・44

1・28813、メールta

mura.s0018@pref.wakaya

na.lg.jp）へ提出する。



講師の井上拓実さん
（城南中学校提供）



はんこや組子細工などを見学する生徒ら（同校提供）